

国語 第3学年 つたえたいことを、理由をあげて話そう 検討会の想定問答

指摘 1: この単元で身に付けることは何か。

返し: お気に入りの場所を、選んだ理由とそこでの経験を結び付けて紹介する。場所の設備の列挙にとどめず、自分が気に入った理由が話の中心として伝わる構成にする。A(1)イの学習として、場所紹介の話すメモ。中心と理由、事例を区別し、聞き手からの質問で直した点を記す。

指摘 2: 何をもって学習できたと判断するか。

返し: おおむね満足できる状況は、場所のよさが伝わるように、理由と経験を挙げ、中心を明確にして話の構成を考えているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。A(1)イの姿を本時の発言と記録に照らす。

指摘 3: 活動が楽しいだけで終わらないか。

返し: 場所紹介の話すメモを残す。中心と理由、事例を区別し、聞き手からの質問で直した点を記す。活動後に、どの言葉を根拠にしたかを確認することで、A(1)イに関わる学習の中身を確かめる。

指摘 4: 難しさのある児童にはどんな支援をするか。

返し: 施設の説明や道順だけになる。楽しいからという理由の繰り返しになる。これについて、場所・気に入っている理由・その理由が伝わる経験を分けてメモする。話を聞いた児童は中心を短く言い返す。地域や家庭の事情による経験差を比べず、校内の場所も選べるようにする。〔知識及び技能〕(1)イとA(1)イを切り離さず扱う。

指摘 5: 考えが違ったときはどう扱うか。

返し: 教師の結論を選ばせず、「その場所を気に入っている理由が伝わるのは、どんな経験を話したときですか。どの順で話すと中心が伝わりますか」に戻す。言葉や本文で確かめられる点と、個人の感じ方を分け、A(1)イに関わる根拠を話し合う。

指摘 6: 本時の評価で態度まで決められるか。

返し: 本時の参加の様子だけでは決めない。学年の目標(3)を受け、単元を通した記録と見直しの理由を合わせて判断する。発言の多さや従順さを態度の評価にしない。

指摘 7: 端末がない学級でもできるか。

返し: 場所紹介の話すメモは紙に記録できる。中心と理由、事例を区別し、聞き手からの質問で直した点を記す。端末があれば書き直し前後を保存して比較する。道具の操作をA(1)イの評価の代わりにしない。

指摘 8: 時間が足りないとき、どこを残すか。

返し: 総時数の出典は光村図書出版の年間指導計画である。活動量を調整する場合も、本時の問いを自分で考える場面と、根拠を比べて記録を見直す場面は残す。A(1)イで目指す姿が確認できるように配当を組み直す。

指摘 9: 写真をたくさん見せた方がよいか。

返し: A(1)イで扱う中心は話の構成である。写真は話す事例を確かめる助けに使い、写真だけで紹介を済ませない。個人宅など公開に適さない写真は用いない。

指摘 10：振り返りを感想だけにしないためには。

返し：「その場所を気に入っている理由が伝わるのは、どんな経験を話したときですか。どの順で話すと中心が伝わりますか」への答えを学習前後で読み比べる。変えた点に加え、理由を確かめて残した点も書く。A(1)イに関わる言葉の捉え方・使い方を記録する。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

